

12月2日に兵庫県立大学の神戸商科キャンパスで第1回目英語スピーチコンテストを開催できたことを大変嬉しく思います。看護学部を除いて、大学の各学部から参加者を集めて、合計14名の学生が参加しました。道半ばで参加をあきらめた学生が数名いましたが、14名が最後まで英語インストラクターからスピーチ指導を受け、最後までやり切りました。

イベントは学友会の岡村会長の挨拶で開会されました。学生は中級と上級の2つのカテゴリーで競技しました。皆さんは非常に準備が行き届いており、素晴らしいスピーチをしました。また、学生が選んだトピックは非常に興味深く多様でした。学生は「生き方の選択と多元宇宙」、「戦争」、「LGBTQの権利」、「祖父の死と僕が言いたかったこと」、「宇宙ごみ」、「国際保健法」、「日本職場の多文化化」、「学生評価に利用するGPAのみの問題」、「親孝行と個人の夢」、「日本語の学習」、「多文化主義と自己アイデンティティの発見」、「失敗」、「教員への良い扱い」、そして「個人の失敗を成長の手段」という想像力の高いスピーチを行いました。すべてのスピーチは非常に素晴らしかったです。

審査員は神戸女学院大学のスーザン・E・ジョーンズ先生と大阪大学のアンドリュー・村上＝スミス先生でした。そこで兵庫大学からは田中キャサリンも審査委員に加わりました。どのスピーチも素晴らしかったため、得点が非常に僅差で、判定が非常に難しかったのですが、最終的に以下のような結果となりました。

中級カテゴリーでは：第1位：Ahmad Izzat Hamizan Bin Abu Talib（工学部）、第2位：Nana Nakabo（工学部）、第3位：Taiga Kusumoto（工学部）、審査員特別賞：Miyume Yasuda（環境人間学部）、学友会特別賞：Matsumoto Ryota（社会情報学部）。

上級カテゴリーでは：第1位：Keane Edbert Walerian（国際商経学部）、第2位：Celia Dam Thi Tu Chau（国際商経学部）、第3位：Keito Tamura（工学部）、審査員特別賞：Tariq bin Roslan（工学部）、学友会特別賞：Muchammas Firliandi（国際商経学部）。

各賞は、国際商経学部長の友野先生に発表していただいた後、感動的な最終の言葉を国際商経学部の山口先生からいただきました。イベント全てを通して、末弘先生、金志先生、国際交流機構の村上先生のご支援によって無事に終了しました。

初めての英語スピーチコンテストは活気に満ち、考えさせられるイベントでした。皆さんのスピーチを聞くことで多くを学び、楽しむことができました。今年の成功を機に、来年はさらに素晴らしいコンテストになることを願っています。

